

災害協カシミュレーションゲーム

ダイレクトロード「海辺の町」

1 想定

ここは瀬戸内海に面した美しい海辺の町。

ある日、とうとう南海トラフ地震が発生し、この町にも大きな被害が出ています。

すでに地震発生から15分が経過していますが、まだ、消防隊は到着していません。

皆さんは、それぞれが持ち寄った町の情報や知識を基に、周りにいる人たちに指示を出して、さまざまな被害に対処してください。

なお、この町には、地震発生から80分で津波が到達すると予想されています。

自分たちが避難する時間を考えると、活動できる時間は45分間です。

2 課題

(1) 町の位置関係と被害状況を把握しながら、被害への対処方法を見つけてください。

(2) 4種類の指示書を作成して、周りにいる人たちに指示を出してください。

3 約束

- 自分のカードは、他の人に見せてはいけません。
- カードに書かれてある情報は、全て言葉にして口頭で伝えてください。
- カードの情報をそのまま書き写したり、一覧表を作ってはいけません。

海辺の町 地図



進行役進行票（1 / 3） スタート前

10分間

内

容

皆さんは、南海トラフ巨大地震をご存知ですね。

南海トラフ巨大地震は、平成25年を起点として、10年以内に20%、20年以内に50%、30年以内に70～80%の確率で発生します。この地震は、非常に大きな揺れと津波を起こし、関東から九州までの、とても広い範囲に甚大な被害を及ぼします。ここにいる皆さんの多くは、この地震に実際に遭遇します。

ダイレクトロード「海辺の町」は、南海トラフ地震が起こった直後の災害対応を疑似体験するゲームです。巨大地震のような多くの災害が同時に発生する状況では、すぐに消防車や救急車が駆けつけられるとは限りません。そんな状況でも、その場に居合わせた人たちが協力すれば、一人では助けられない人たちの命を救うことができますはずです…。

それでは、テーブルの上に置かれたカードを全て、裏向きのままシャッフルせずに、トランプを配るように皆さんに配ってください。自分に配られたカードは見ても構いません。

（カードを配り終えて少し経ったら）

ゲームの想定を読み上げますので、頭の中で状況を思い浮かべながら聞いてください。

「ここは瀬戸内海に面した美しい海辺の町。ある日とうとう、南海トラフ地震が発生し、この町にも大きな被害が出ています。すでに地震発生から15分が経過していますが、まだ、消防隊は到着していません。皆さんは、それぞれが持ち寄った町の情報や知識を基に、周りにいる人たちに指示を出して、さまざまな被害に対処してください。

なお、この町には地震発生から80分で津波が到達すると予想されています。自分たちが避難する時間を20分は確保すると、活動できる時間は、残りの45分間です。」ということで、ゲームの制限時間は45分間です。

課題です。まずは、町の位置関係と被害状況を把握して、同時に、被害への対処方法を見つけてください。そして、4種類の指示書を作成してください。**皆さんの役割は、皆さんの周り**にいる人たちが、それぞれの被害に対処できるように**指示を出すこと**です。全ての指示が出せればゲームクリアです。

配られたカードは、あなたが地震前後に見聞きした町の情報や、知っている知識です。自分が持っている情報を、他の人の情報と組み合わせることで、地図の空白部分に何が入るのかや、町の被害状況、そして、被害への対処方法が分かってきますので、それを基に指示書を作成してください。指示書ができたなら、その都度、「周りにいる人」に渡してください。

約束事です。自分のカードは、他の人に見せてはいけません。情報は全て、口頭で、言葉にして、伝え合ってください。また、カードの情報を丸写ししたり、一覧表を作っはいいませんが、地図の中に分かった情報を書き入れていくのは構いません。指示用紙の中の座標というのは、この町の住所です。地図にある横軸のA～Fと縦軸の1～6で位置を示してください。例えば、左上の空白は、A1となります。

また、実際の災害現場では「サイレントタイム」という、全ての活動を止めて、助けを求める声などの大切な情報を、聴き逃さないようにするための時間を設けます。

ゲーム中に私が「サイレントタイム!」と言ったら、話を止めて静かになってください。

チームの中で、ストップウォッチが描かれたカードを持っている人は手を挙げてください。私は時間経過を言いませんので、みんなが活動に夢中になりすぎて、津波から逃げ遅れないように、あなたが時間管理をしてください。

それではゲームを始めます。最初に少しだけヒントを出します。 （2ページに続く）

進行役進行票（2/3） ゲーム中

スタート時 『優先順位』	<p>ヒント1。大きな地震の直後には、最優先で対処しないと、後から後悔することがあります。ヒント2。暗号カードを解読できれば、より早く指示書を作ることができますが、別に暗号が解けなくても、指示書は完成させることができます。では、スタート！</p>
※時間経過は言わない 5分経過後 『消火優先』	<p>サイレントタイム！ 最優先で対処することが分からないチームにヒントです。カギは青いカードです。持っている人は手を挙げてください。カードをよ〜く見てください。読めた瞬間に思わず叫びたくなっても、他のチームに聞こえてしまいますので、答えは叫ばないように…。 何に対処しなければならないかが、ズバリ書いてあります。最優先で対処することが分かったら、それがどこで起こっていて、何を使って、どうやるのか、を伝えるのが、周りの人に指示をするということです。では、活動を再開してください。 （数分経っても読めない時は、グループ内に見せて助けてもらってもよい）</p>
10分経過後 『救出宣言』	<p>サイレントタイム！ 井上さんに関するカードを持っている人は手を挙げてください。カードの内容を仲間の皆さんに伝えてください。 あなたは、井上さんの居場所が分かったらすぐに、「周りにいる人」に、その場所を伝えて「井上さんは自分が助けに行ってきます」と宣言してください。この宣言で井上さんは助け出されたことにしますので、井上さんについて指示書を作成する必要はありません。 もしも宣言後に間違いに気づいたら、すぐにまた、「周りにいる人」に伝えてください。では、活動を再開してください。</p>
20分経過後 『暗号カード解放』	<p>サイレントタイム！ 「暗号カード」と書かれたカードのみ、他のメンバーに見せても結構です。では、活動を再開してください。</p>
25分経過後 『手遅れイベント』	<p>サイレントタイム！ この時点までに、・『井上さん救出宣言』をしていないか、・していても場所を間違えているか、あるいは、・消火指示を出していない場合、井上さんは隣の家の火事が延焼してきて、もう救出できません。井上さん、死亡です。どちらかをおこなっていればセーフです。では、活動を再開してください。</p>
45分経過後 『重大な判断』	<p>（4枚の指示書完成に至らなかったチームがあれば） 45分が経過しました。4種類の指示を出せていないチームは、ここで重大な判断を下してください。全ての活動を止めて、高台に避難を始めるか、あるいは、あと10分活動を続けた後、小学校の屋上に逃げるか、10秒以内にチームで決めてください。小学校の屋上は、おそらく大丈夫だと思いますが、絶対安全とは言い切れません。 （10秒カウントダウン後、判断を聞き、延長するチームがあれば） では、あと10分間です。活動を再開してください。 （すべてのチームが避難する判断をした場合は） ゲーム終了です。お疲れさまでした。</p>
さらに10分経過後 『活動限界』	<p>活動限界です。これ以上は危険です。全ての活動を止めて、小学校の屋上に避難してください！ということで、ゲーム終了です。 （3ページに続く）</p>

進行役進行票（3/3） ゲーム終了後

15分間	内 容
	<p>お疲れさまでした。他の人がどんなカードを持っていたのか、お互いに見せあってください。Looking back 用紙に記入しながら、振り返りをおこなってください。 （2、3分経過したら） まだ書き終わっていない方も、書きながらで結構ですので聞いてください。</p> <p>「大きな災害の直後は、情報が錯そうする」と言われます。その中から、必要な情報を選び出して、正しい対処に繋げることが大切です。 あらかじめ、自分が何をすべきか知っておけば、必要な情報を選びだす助けになります。</p> <p>巨大地震の直後に、おこなうべき活動は、大きく分けて4つです。それは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事を消す「消火活動」 ・閉じ込められてしまった人を助けだす「救助活動」 ・ケガをした人に応急処置をする「救護活動」 ・そして、海に近い地域では、「避難呼びかけ活動」です。 <p>4つのうち、優先する活動は、巨大地震に、どこで遭遇するか、で変わります。</p> <p>まず、太平洋に面している地域は、すぐに津波が来る可能性があるため、ほとんど「避難呼びかけ活動」しかできません。周りの人に避難するように呼びかけながら、自分も高台へ避難してください。</p> <p>次に、津波の心配がない地域では、優先すべきは、「消火活動」です。火事を消さずに放っておくと、火はどんどん広がって、救助活動や救護活動どころではなくなってしまいます。火は、小さければ小さいほど、簡単に消すことができますので、ゲーム中に登場した消火器で消せるくらい小さな火のうちに、消してしまうことが大切です。</p> <p>そして、津波が来るまでに時間がある地域の場合、優先すべきは、「消火活動」と「避難呼びかけ活動」の2つです。 「わざわざ火を消さなくても、津波が来たら消えるのでは？」と思った人はいませんか？ でも、そんな都合の良いことにはなりません。燃えている物がそのまま押し流されて、炎がマグマのように広がる「津波火災」という、もっと悪い状況になるか、逆に、津波は予想よりも小さくて、結局来ないかもしれません。 事前に予想されている津波の到達時間を知っておいて、時間を計って安全を確保しながら無理しない範囲で、消せる火は消してしまってください。</p> <p>近い将来、ここにいる多くの方は、実際に南海トラフ地震に遭遇します。その時はどうか、周りにいる人たちと協力してください。</p> <p>「協力の中に、人の命をつなげるダイレクトロードは開けます。」</p> <p>皆さんがお住まいの地域では、今日のような助け合いができそうですか？ 一人ではできないことは、たかが知れています。 今から、個人や地域で準備するべきことは何でしょうか？ その時になって後悔しないように、できることをしておくことは、絶対に損にはなりません。 ダイレクトロードを体験した皆さんはきっと、行動に移してくれると信じています。 これで、ダイレクトロード「海辺の町」を終わります。お疲れ様でした。</p>

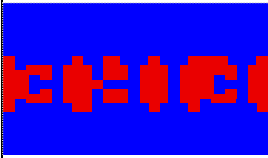
周りにいる人役進行票

スタート前	<ul style="list-style-type: none"> 自分がチームの周りにいる人役であることを告げる 指示書が出来たら、自分に手渡すように言う
指示の受け方と対応の仕方	
『井上さん救出宣言』時	「井上さんはどこですか?」と聞く（間違っても伝えない）
『手遅れイベント』時 (ゲーム開始25分後)	『井上さん救出宣言』をしていないか、していても場所を間違えているか、消火指示を出していないければ、地図上の井上さんの位置に×印を書き入れる
指示書を渡されたら	「分かりました、行ってきます」と言って受け取り、答え合わせ
不正解であれば	間違っていた状況を伝えて返却する（指示された場所に消火器はありませんでした。等）
正解であれば	以下のように質問し、説明できればOK↓
消火指示	「消火器なんて触ったこともないから、使い方が分からない!」
	模範回答 「安全ピンを抜いて、ホースをポンとはずし、レバーをパンと握ると消火剤が出ます」
救護指示	「ラップと週刊誌で、どうしろって言うんですか?」
	模範回答 「骨折部分に週刊誌を当てて、ラップでぐるぐる巻きにして固定してください」
救助指示	「百科事典って、何に使うんですか?」
	模範回答 「ボールを使う時のこの支点や、あて木の代わりとして使ってください」
避難呼びかけ指示	「建物の2階に避難するように言えばいいですか?」
	模範回答 「建物上階よりも高台に避難するように言ってください」
避難呼びかけ指示	「車を使って逃げるように言ってもいいですか?」
	模範回答 「できる限り歩いて避難するように言ってください」
4種類の指示が正しくできたら	<ul style="list-style-type: none"> 「全ての処置が完了しましたので、急いで高台へ避難しましょう、ということでゲーム終了です。お疲れさまでした」と言う Looking back 用紙を配布して記入してもらう
その他随時 (経過時間は答えない)	担当チームが時間内にゴールできるように、的外れな部分で迷ったり、議論が堂々巡りしたり、見当違いな方向に話が進んでいる時は、ヒントを出したり、疑問の解決となるカードを持っている人に発言を促して、軌道修正しながら先に進めてください。

ヒントの出し方

適宜 「1枚のカードに1つの情報とは限りません」
 「誰かの疑問の答えは、必ず誰かのカードの中にあります。きちんとその答えを周りに伝えてください」
 「対処に必要な物や方法は全て、カードに書かれてあります」
 「小学校と公園の枠の点線は、金網のフェンスを表しています」

青いカード



「これは漢字か、カタカナか、ひらがなか？ 何でしょう？」
 「青いカードですから、大切なのは、青い部分です」
 「見ている方向は、それでいいですか？」

3分経ってもカードを持っている者が読めないときは、チームで考えて良い

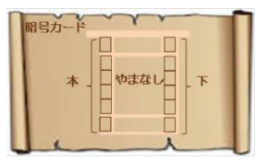
暗号カード (Serious には無い) (暗号解きがゲームの本旨ではないので、手間取るようならすぐにヒントを出します)
 開始後早めに「暗号カードは、1枚を除いて、町の位置関係を表しています」
 「暗号カードは、解読できなくてもゴールできますが、暗号が解ければ、より早く、より正確にゴールできます」



「このカードをただ見ているだけでは分かりません。飛び交っている言葉から、何か気づきませんか？」



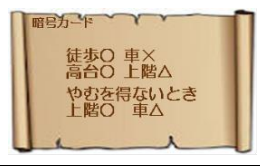
「どうして真ん中の字体だけ違うのでしょうか？」
 (Basic には無い)



「やまなしは、山が無いという意味です」
 「このカードに山があったら？」
 「本と下に山があったら？」
 (Basic には無い)



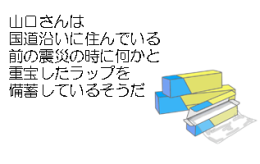
「わざわざ方位記号があるのは、このカードには東西南北が必要だからです」
 「目とは、目のことです」
 (Basic には無い)



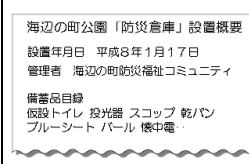
このカードのみ、津波避難に関する内容 ヒント無しでも大丈夫

誰かが正解を言ったら、話が逆戻りしないように、すぐに「正解！そのとおり！」と言ってあげてください

いつまでも国道沿いの山口さんと防災倉庫の位置を確定できない場合



「地図をよく見てください。普通、公園の中に人の家はありませんよね。」



「この防災倉庫は、どこにありますか？ このカードから読み取れますよ」

最重要カード



「このカードはとても大切なカードです。情報を見落とさずに他の人に説明してください」

このカードから読み取らなければならないのは、以下の3点

1. まんぶく食堂の向かいが中村さん
2. 中村さんの家から煙が出ている→火事になっている
あまりにも気づかない場合は、きちんと見るように促す
3. 左斜め上に見えるのは、小学校のフェンス
店の中から見ている→道路の見え方→左上に見えるのは学校のフェンスと、順にヒントを出す

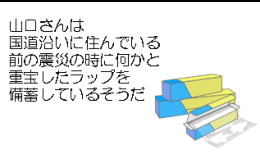
処置に使うカード



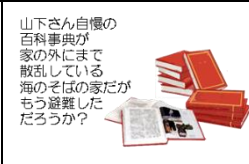
「無駄なカードは1枚もありません」
 「何に使えるか、周りの人の話の流れの中で、ここだと思う時に教えてください」



「何をしていると思いますか？ 飛び交っている言葉から、推測してください」
 「何かと何かを組み合わせています」



「何でわざわざこんなことが書いてあると思う？」
 「何に使えるか、周りの人の話の流れの中で、ここだと思う時に教えてください」



「何でわざわざこんなことが書いてあると思う？」
 「何に使えるか、周りの人の話の流れの中で、ここだと思う時に教えてください」

進捗状況把握表

DIRECTROAD「海辺の町」

チーム「 **記入例** 」 ゲームクリア時間 (**41:00**)

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了	○	○	○	41:00	○

チーム「 」 ゲームクリア時間 (**×**)

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了	○	○			○

※ペナルティ 井上さんを死なせてしまったチームには
ゲームクリア時間に10分をプラスする

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了					

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了					

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了					

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了					

チーム「 」 ゲームクリア時間 ()

	井上さん 救出宣言	消火	救護	救助	避難
指示完了					

Looking back

DIRECTROAD「海辺の町」

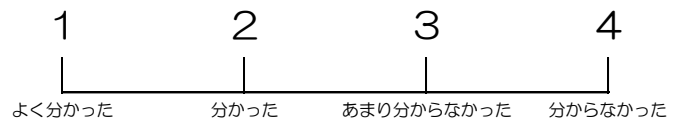
1 周りの人と協力することはできましたか？



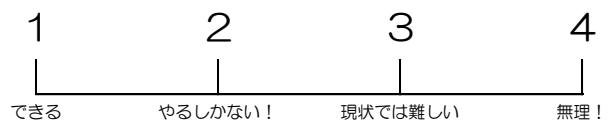
2 巨大地震直後の状況をイメージできましたか？



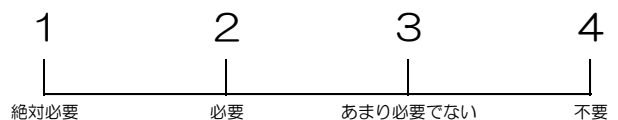
3 消火活動しないと、どんなことが起こるか分かりましたか？



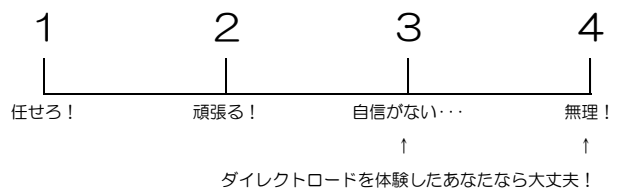
4 お住まいの地域では、助け合いができると思いますか？



5 個人や地域レベルでの、災害への準備は必要だと思いますか？



6 巨大地震が起こったら、率先して行動できますか？



7 DIRECTROADを体験したご感想をお書きください。

※ DIRECTROAD (DIRECTROAD) は、「一本道」という意味です。

※ DIRECTROADのデータは、誰でもダウンロードしてお使いになれます。

DIRECTROAD ゲーム

検索

災害協カシミュレーションゲーム「ダイレクトロード」 Looking back集計用紙

1. 実施日 西 曆 _____年 _____月 _____日

2. 実施ゲーム 海辺の町

3. 参加人数 _____名

4. Looking back集計結果

第1問	1	人	2	人	3	人	4	人
第2問	1	人	2	人	3	人	4	人
第3問	1	人	2	人	3	人	4	人
第4問	1	人	2	人	3	人	4	人
第5問	1	人	2	人	3	人	4	人
第6問	1	人	2	人	3	人	4	人
第7問 自由欄								

5. 備考

海辺の町 正解図



指示書

正解例（消火活動）

あなたがたは、

座標

名称

B6 の **中村さん(の家)** が

例 A1 E5

どうなっているか

火事になって・煙が出て 等 いるので、

座標

名称

使うもの

A4 の **吉田** **さんの** **消火器** と
前にある

座標

名称

使うもの

E2 の **高橋商店** **さんの** **消火器** を使って
前にある

消火活動してください。

指示書

正解例（救護&搬送指示）

あなたがたは、

座標

名称

E3

の

小林

さんが

例 A1 E5

どうなっているか

足を骨折◎ 骨折○ ケガ△

しているので、

座標

名称

使うもの

A1

にある

山口

さんの

ラップ

と

座標

名称

使うもの

E4

にある

大西

さんの

週刊誌

を使って

応急処置してから

座標

名称

使うもの

A6

にある

まんぶく食堂

さんの

イス

を使って

高台まで搬送してください。

指示書

正解例（救助活動）

あなたがたは、

座標

名称

A3 の **藤原さん** が

例 A1 E5

どうなっているか

**用じ込められて・出られなくなって
家具の下敷きになって等**

いるので、

座標

名称

使うもの

E1 の **防災倉庫** にある **ボール** と

座標

名称

使うもの

E6 の **山下** さんの **百科事典** を使って

救助活動してください。

指示書

正解例（避難呼びかけ活動）

あなたがたは、

どうなっているか

津波がせまって・津波が近づいて等 いるので、

座標

名称

使うもの

A5 にある **藤井商店** さんの **メガホン** を使って

例 A1 E5

住民に避難するよう呼びかけてください。

28	まんぶく食堂はお昼時になると 工場で働く人たちがいっぱい あそこのイスを… 	まんぶく食堂は工場に近い まんぶく食堂にはイスがある 普通のイスが搬送に使える	14	海辺の町公園「防災倉庫」設置概要 設置年月日 平成8年1月17日 管理者 海辺の町防災福祉コミュニティ 備品目録 股脱トイレ 投光器 スコップ 靴バ フルシート パール 懐中電 	必要な情報をくみ取る 防災倉庫は公園にある 倉庫にはパールがある
27	山本さんが 聞き込められているので 近くにある郵便局の職員達に 救助活動をお願いした 	山本さんは要救助者だが、指示書 を作る必要はない 情報を的確に伝える	13		過去に接した記憶を思い出す 消火器の使い方を示唆
26	工場で働く人の中には まんぶく食堂でお昼を食べた後 さらに向かいの 藤井商店で おやつを買う人もいる 	まんぶく食堂と藤井商店は向かい 合っている	12	暗号カード 	暗号カード一人一人の試練 藤井商店、吉田さん、藤原さん が並んでいることを表す
25		暗号カード一人一人の試練 高橋商店と小林さん。南と西から は見え、東からは並んで見え、 北からは高橋商店だけが見える	11	暗号カード 徒歩○ 車× 高台○ 上階△ やむを得ないとき 上階○ 車△ 	暗号カード一人一人の試練 津波避難の原則を表す
24	地図上では 山本さんと高橋商店は 向かい合っているが 実際は小学校の校舎で お互いの建物は見えない 	山本さんと高橋商店の位置関係	10	大西さんは さっきまで家の中で 読んでいた週刊誌の ことを思い出した 	救護処置に使う週刊誌の場所
23	助けて〜!! お隣の小林さんが 足を骨折して 動けないっ!! 「」さん 	小林さんは足を骨折していて応急 処置と搬送が必要 大西さんと小林さんは隣合っ ている	9		会話の中でラップと週刊誌で あることに気づき、骨折部位の 固定方法を周りに説明しなけ ればならない
22	活動に必死になり過ぎて 自分たちが津波から 逃げ遅れないように! あなたがグループの 時間管理をしてください 	津波に巻き込まれないようにグル ープの中で時間管理をしなけれ ばならない	8	山下さんは、お向かいの田中さん をショッピングセンターの カートに乗せて避難させている 良いアイデアだが ケガ人だと あの振動は辛い 	山下さんと田中さんは向かい あっている ショッピングカートは搬送に使 えるが、適用は限られる
21	暗号カード 	暗号カード一人一人の試練 藤原さんと小林さんは、小学 校を挟んで向かい合っている	7	少し前、藤井商店が メガホンを使って 客の呼び込みをしていたところ 小学校から 苦情がきたらしい 	津波避難を呼びかけるメガ ホンが藤井商店にある
20		FIREと書いてある 優先すべきは消火活動を示唆 思い込みで判断するのは禁物	6	山下さん自慢の 百科事典が 家の外にまで 散乱している 海のそばの家だが もう避難した だろうか? 	山下さんの家は海に近い 救助活動であて木代わりに使 う百科事典がある
19	山口さんは 国道沿いに住んでいる 前の震災の時に何かと 重宝したラップを 備蓄しているようだ 	山口さんの場所を確定できる 救護処置に使うラップの場所	5		まんぶく食堂と中村さんの位 置関係 火事の発生に気づく 状況を言葉で説明する
18	お寺の近くの井上さんが 助けを求めている 足が不自由だが小さな人なので 居場所が分かればあなたが 背負って避難させてください 	井上さんは寺の近くにおり、救助 が必要 カード保持者が助けに行き、指示 書を作る必要はない	4	小林さんの隣のお店 の前に地域で買った 消火器があるわね 	小林さんの隣は商店である 消火活動に使う消火器の場所
17	パールで物を持ち上げるには “てこ”の“支点”にしたり 持ち上げた物の下に入れて支える “あて木”が必要 使えそうなのは? 	パールの存在と使い方を示唆 あて木の代用品が必要 身近にある物を工夫して使う	3	吉田さんは公園での防災 訓練時に、家前のある 地域で購入した消火器を 公園まで運んだが、年 を取ってだんだん辛くな っている… 	消火活動に使う消火器の場所 吉田さんは公園から遠い
16	暗号カード 	暗号カード一人一人の試練 左筋に山本さん、右筋に山下さん の家があるが、名前から山の文字 が無くなっている(やまなし)	2	吉田さんが外に出ると 隣の家とその隣の家から 助けを求める声が聞こえてきた 二人とも聞き込められて 外に出られないようだ 	要救助者が並んでいるという 位置情報
15	このあと津波が来るかもしれない 多くの人に避難を呼びかけるのに 効果的な道具はないだろうか…	津波避難を呼びかけるのに使える 道具を考える	1	藤原さんが ベッドと倒れてきた家具のすき間 にいるのが見える ケガはないようだが倒れた家具は 何が道具がないと持ち上げら ない 	藤原さんは要救助者で救助活 動が必要 重い物を持ち上げる道具は何 か考える

